

小 論 文

特別入試（学校推薦型選抜）

農学部 植物生命科学科
 応用生物化学科
 森林科学科
 食料生産環境学科
 動物科学科

9時30分～12時00分（150分）

注意事項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は、この表紙を除いて16ページです。
3. 3問について解答しなさい。各学科の問題は、以下のとおりです。

植物生命科学科	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="3"/>
応用生物化学科	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="4"/>
森林科学科	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="5"/>
食料生産環境学科	農村地域デザイン学コース，食産業システム学コース		
	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="6"/>
食料生産環境学科	水産システム学コース		
	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="7"/>
動物科学科	<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="8"/>

4. 解答用紙は3枚です。
5. 下書き用紙は3枚です。
6. 解答は解答用紙に記入しなさい。
7. 印刷不鮮明及びページの落丁・乱丁に気づいた場合は、手を挙げて申し出なさい。
8. 3問の解答用紙の全てに本学の受験番号を記入してから解答をはじめなさい。
9. 試験終了後、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰りなさい。

22 推薦 農 2/17

22-農・推

- 1 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

22 推薦 農 3 / 17

22-農・推

著作権処理の関係上、本文等は掲載できません。(P2~4)

出典情報のみ掲載します。

出典等：

(串田孫一『生きるための思索』社会思想社，1965年による。ただし，出題の都合上，一部を省略し，また表記を改めたところがある。)

問 1 .

問 2 .

問 3 .

2 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権処理の関係上、本文等は掲載できません。(P5~6)

出典情報のみ掲載します。

出典等：

(Woteki, C. "The Rad to Pollinator Health" *Science*, 341, 695, 2013 による。ただし、出題の都合上、一部を省略し、また表記を改めたところがある。)

問 1 .

問 2 .

問 3 .

問 4 .

3 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権処理の関係上、本文等は掲載できません。(P7~8)

出典情報のみ掲載します。

出典等：

(ソーア・ハンソン著、黒沢令子訳『種子』白揚社、2017年による。ただし、出題の都合上、一部を省略し、また表記を改めたところがある。)

問 1 .

問 2 .

問 3 .

4 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

22 推薦 農 10/17

22-農・推

著作権処理の関係上、本文等は掲載できません。(P9~10)

出典情報のみ掲載します。

出典等：

(井村裕夫『人はなぜ病気になるのか』岩波書店、2001年による。ただし、出題の都合上、一部を省略し、また表記を改めたところがある。)

問1.

問2.

問3.

問4.

問5.

問6.

問7.

- 5 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

22 推薦農 12/17

22-農・推

著作権処理の関係上、本文等は掲載できません。(P11~12)

出典情報のみ掲載します。

出典等：

(太田猛彦『森林飽和 国土の変貌を考える』NHK出版, 2012年による。ただし, 出題の都合上, 一部を省略し, また表記を改めたところがある。)

問 1.

問 2.

問 3.

問 4.

出典等：

(総務省統計局「人口推計」, 総務省統計局「第七十回日本統計年鑑 令和3年」, 鬼頭宏「図説人口で見る日本史」から作図)

- 6 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権処理の関係上、本文等は掲載できません。(P13~14)

出典情報のみ掲載します。

出典等：

(高橋昌一郎『ノイマン・ゲーデル・チューリング』筑摩書房, 2014年による。ただし, 出題の都合上, 一部を省略し, また表記を改めたところがある。)

問 1

問 2

問 3

問 4

22 推薦 農 15 / 17

22-農・推

7 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

著作権処理の関係上、本文等は掲載できません。(P15~16)

出典情報のみ掲載します。

出典等：

(ポール・グリーンバーグ著 夏野徹也訳『鮭鱈鱒鮭 食べる魚の未来 最後に残った天然食糧資源と養殖漁業への提言』地人書館, 2013年による。ただし, 出題の都合上, 一部を省略し, また表記を改めたところがある。)

問1.

問2.

問3.

8 以下の問 1~3 に答えなさい。

- 問 1. 環境問題, 特に地球温暖化の視点から「牛のゲップ (あい気)」は悪影響を及ぼすものとして扱われてきている。主にゲップに含まれるメタン排出量に起因しているわけであるが、「温暖化を抑制するため、あなたは肉を食べるのをやめますか?」といった内容の記事を見かけることもある。このことについてあなたの考えを理由とともに述べ、どのように対処すべきであるか、200 字以内で説明しなさい。
- 問 2. 近頃の新聞や雑誌には「SDGs」というワードが良く見られる。Sustainable Development Goals の略であるが、この Sustainable の意味について、あなたの解釈はどのようなものですか? 動物科学分野での例を挙げ、200 字以内で説明しなさい。
- 問 3. 最近、日本でも「代替肉」を扱う店舗が増えてきた。代替肉は大きく 2 つに分けられる。一つは「培養肉」、もう一つは「植物性タンパク質をベースにした肉」である。培養肉はまだ研究段階であるが、植物性タンパク質をベースにした肉は種々開発され、すでに店舗に並んでいるところもある。これからの日本市場における「代替肉の将来性」について、あなたの考えを 300 字以内で述べなさい。